

第2回 四街道市部活動地域移行推進協議会 議事日程

日時：令和6年12月18日（水）

15時から16時40分まで

場所：四街道市文化センター 206号室

1. 開会
会長挨拶
2. 議事録署名人の選出
3. 協議・報告事項
 - （1）令和6年度モデル事業（野球）について
 - （2）令和7年度モデル事業の実施について
 - （3）令和7年度モデル事業に係る委託業者の選定について
 - （4）部活動地域移行推進計画の策定について
4. その他
5. 閉会

第2回 四街道市部活動地域移行推進協議会 議事録概要

日程 令和6年12月18日(水) 午後15時～16時40分

場所 四街道市文化センター 206号室

出席者	四街道市教育委員会教育長	府川 雅司
中学校校長代表	小川 大輔	
中学校校長代表	中嶋 宣雅	
部活動顧問代表	福田 薫	
部活動顧問代表	猪谷 龍哉	
部活動顧問代表	安藤 優樹	
部活動顧問代表	小倉 信太郎	
小中学校保護者代表	本多 正樹	
小中学校保護者代表	時田 由泉	
スポーツ団体関係者	伊東 秀郎	
スポーツ団体関係者	若林 修	
文化芸術団体関係者	貝瀬 永治	
文化芸術団体関係者	片山 文	
千葉県部活動地域移行エリアコーディネーター	濱谷 昌人	
四街道市教育委員会教育部長	真田 裕之	
四街道市教育委員会教育部副参事	長谷川 篤	
四街道市教育委員会教育部教育総務課長	久保木 直樹	
四街道市教育委員会教育部学務課長	飯村 典秀	
四街道市教育委員会教育部指導課長	伊藤 友江	
四街道市教育委員会教育部社会教育課長	田島 衣織	

傍聴人 0名

3. 協議・報告事項

(1) 令和6年度モデル事業(野球)について

- 若林委員 ご報告いただいた実績において11月の欠席者が多いのは、何か理由はあるのでしょうか。
- 受託業者 欠席理由は確認していますが、学校行事やインフルエンザ等の特段の理由はありませんでした。

- 本多委員 指導員のうち、部活動顧問、外部指導員何名等の内訳はどうなっていますか。
- 事務局 登録指導員7名のうち、顧問（兼職兼業）が5名、外部指導員が2名です。
- 本多委員 外部指導員はどういう方々ですか。
- 事務局 本市では、学校部活動に顧問とは別に部活動指導員を配置しております。野球部では北中と西中に配置しており、その部活動指導員が地域クラブ活動の指導者を希望し登録しました。
- 伊東委員 保護者から活動拠点までの移動距離が遠く負担であるという意見があるとのことだが、対応はいかがですか。
- 事務局 活動拠点までの交通手段として、保護者による送迎と生徒の自転車移動があることが把握できました。自転車移動の場合、片道25分以上かかっている生徒もいるので、安全性や教育的な問題が生じています。活動場所をローテーションにする等、検討が必要と考えています。
- 貝瀬委員 専門性のある指導者が来るという話だったが、結局顧問が指導し、ただの合同練習ではないかとの保護者からの意見があるが、活動の際に指導者が足りない印象があるのではないかと。
- 受託業者 現在、千代田中では40～45名の生徒に登録指導者4名、旭中学校では30名に対して登録指導者3名です。常時2～3名指導員を配置し、1名あたり10名から15名の指導にあたっており、指導員は足りています。

（2）令和7年度モデル事業の実施について

- 本多委員 来年度のモデル事業は新たに、女子バドミントン、男子バレーボールを追加することですが、もともと設置校が1、2校のものを1拠点にまとめ、モデル事業の対象にする必要はあるのでしょうか。
- 事務局 11月に小学校6年生を対象に、進学後の部活動希望調査を実施しました。現在、男子バレーボール部は千代田中と西中に設置されていますが、新1年生の入部希望者が今回の調査より下回った場合、西中は単独での活動が困難になります。そのため、2拠点ではなく1拠点で一緒に活動する可能性もありますので、現段階では1～2拠点としています。
- また、バレーボールに興味はあるが部活動の設置がない学校の生徒が、地域クラブ

- 活動に参加できるように門戸を広げ拠点型で受け入れることを考えています。
- 本多委員 それぞれが単独の活動ができる場合は、それぞれの学校で実施することになるのか。学校派遣型との違いは？
- 事務局 結果として、同じものになります。
- 猪谷委員 野球に関してですが、9月までは人数がいるので学校派遣型で実施できると思うが、9月以降人数が減った場合は、近隣校と合同で拠点型での運営になるのでしょうか。また、指導者が学校派遣型だと人数が必要になるが、確保の目途があるのでしょうか。
- 事務局 9月以降の生徒数により拠点型に切り替わることはあると考えています。ただし、合同になる場合は、大会エントリー等で不都合が出ないような活動方法にしていきます。また、指導者の件ですが、人数の確保も今回のモデル事業の検証事項の一つです。教員の兼職兼業による指導者の場合、普段指導している学校での指導を希望される方もいると思いますが、その垣根を越えて複数の学校の指導もできるような環境が今後必要だと考えます。
- 本多委員 指導者は誰が探すことになるのですか。
- 事務局 受託業者と事務局が協力して探します。
- 本多委員 指導員が確保できず、顧問が指導していると教員の働き方改革の推進になっていないようにみえます。
- 受託業者 今回はモデル事業で人数が限定的でしたので、既存の活動に関連する方に最初に声掛けをしました。今後は、活動も広がっていくので、スポーツ協会やスポーツ少年団等の指導経験の豊富な方も取り込んでいき、指導者を選出していくことにより人材を確保し、複数の指導者がローテーションで指導にあたり兼職兼業の指導者でも4回に1回は必ず休みになる等の体制をつくり、働き方改革の推進していくことを考えています。
- 中嶋委員 学校現場の意見ですが、専門性のある顧問はあまり多くなく、専門外の教員が指導しているケースもあるので、広く人材を集めて外部指導員を入れ、そういう面での負担も軽減してほしい。他市町では人材バンクを立ち上げているとも聞いているので、参考にしてはどうか。
- また、現状の小中体連関係の大会は地域クラブでの参加ではなく、学校単位でのエントリーになっている。大会の出場等が、保護者や生徒の部活動における目標や目的になっていることを考えると、部活動の地域移行は基本的に学校派遣型が適する

と思います。

- 時田委員 部活動の地域移行の完了時期を令和8年度として、いま様々なことを実施していると思いますが、最終的に部活動はなくなるのですか
- 事務局 資料に部活動の地域移行スケジュールを掲載させていただいております。令和7年度末までに休日の全部活動地域移行の具体的な計画を策定することとなっていますので、学校と協議を重ね、検討していきます。
- 猪谷委員 来年のモデル事業では、野球部に所属しているけれど野球部の地域クラブに参加せず、バドミントンの地域クラブに参加したいという生徒がいた場合は参加できますか。
- 事務局 来年度は対象外になりますが、今後枠組みが増えていく中で検討していく必要があります。

（３）令和7年度モデル事業に係る委託業者の選定について

- 中嶋委員 バドミントンとバレーボールを男女で分けているが、同じ中学校の男女合同の活動もできるのではないか。
- 事務局 今回、拠点型で実施する理由に自分の中学校にない地域クラブに参加できるようにしたら、どうなるか検証するという目的があります。よって、来年度はこの形で実施したいと考えています。
- 伊藤委員 事務局の説明の補足をさせてください。全て学校派遣型でモデル事業を実施するという自治体もあると認識していますが、本市では予算の問題から、拠点型での実施、種目を選定してモデル事業を行うという考え方で進めています。対象の学校は女子バレーボールの設置も設置されていますが、来年度は男子バレーボールの実施のみでお願いしたい。
- 中嶋委員 生徒数が少なかった場合は拠点数を減らし合同になるということだと移動の問題が生じませんか。
- 事務局 その点もありますが、大会エントリー等の問題も鑑みて拠点数は決定していきます。
- 本多委員 地域移行に関して保護者の認識を促すため、モデル事業の説明会の際に、保護者に人的負担や金銭的負担をもっと説明したほうがよいと思います。

採決 → 全員賛成により可決

(4) モデル事業（野球）の実施に向けて

○貝瀬委員 謝礼金を増額すれば指導者の確保できますし、財源に関しては協議会にその点に優れた人を入れてはどうでしょうか。

○事務局 ご意見として承ります。

4. その他

○府川会長 委員の皆様から何かありましたらお願いします。

○濱谷委員 北総地区の情報をまとめ資料として、本日配付していますので概要を説明させていただきます。

～ 説明 ～

○府川会長 どうもありがとうございました。他の委員の方、ご質問やご意見ありますでしょうか。

○事務局 事務局より、今後の協議会のご予定をお知らせいたします。第3回は令和7年2月21日（金）を予定させていただいております。変更等が生じる可能性もありますが、今回事前にお知らせいたします。なお、開催のご案内につきましては、会議日程に合わせて改めて通知いたしますので、よろしくお願いいたします。事務局からは以上です。

○府川会長 以上をもちまして、本会議を終了いたします。

5. 閉会